

●2018年度・外国人生徒・中国帰国生徒等の高校入試を応援する有志の会(自治体別調査担当者一覧)

自治体名	担当部署	調査担当者	自治体名	担当部署	調査担当者
北海道	北海道教育庁 学校教育課高校教育課高校教育指導グループ	山岸みどり (札幌子ども日本語クラブ)	豊橋市	豊橋市教育委員会 教育政策課	築樋博子 (豊橋市教育委員会外国人児童生徒教育相談員)
札幌市	札幌市教育委員会 学校教育課課程担当課高等学校担当係	今田滋代 (札幌子ども日本語クラブ)	三重県	三重県教育委員会事務局 高校教育課キャリア教育班	藤川純子 (四日市市立笹川西小学校)
青森県	青森県教育庁 学校教育課高等学校指導グループ	明日山幸子 (NPO法人みちのく国際日本語教育センター)	滋賀県	滋賀県教育委員会事務局 高校教育課	清原勝 (滋賀県教職員組合)
岩手県	岩手県教育委員会事務局 学校教育課高校教育担当	村井好子 (いわて*多文化子ども教室 むつみっこくらぶ)	京都府	京都府教育庁 指導部高校教育課	土肥いつき、松川洋祐 (きょうと教組)
宮城県	宮城県教育庁 高校教育課教育指導班	田所希衣子 (外国人の子ども・サポートの会)	京都市	京都市教育委員会事務局 指導部学校指導課高校教育担当	土肥いつき (きょうと教組)
仙台市	仙台市教育局 学校教育課高校教育課	田所希衣子 (外国人の子ども・サポートの会)	大阪府	大阪府日本語教育支援センター(ピアにほんこ)	村上自子 (ピアにほんこ・コーディネーター)
秋田県	秋田県教育庁 高校教育課	今野悦子 (秋田市日本語指導支援パートナー)	大阪市	大阪市教育委員会 指導部高等学校教育担当	榎井緑 (大阪大学)
山形県	山形県教育庁 高校教育課	内海由美子 (山形大学)	兵庫県	兵庫県教育委員会 高校教育課教育指導班教育課程担当	小西和治 (兵庫在日韓国朝鮮人教育を考える会)
福島県	福島県教育庁 学習指導課	三田真理子 (こおりやま日本語教室)	神戸市	神戸市教育委員会事務局 学校教育課高校教育課	辻本久夫 (関西学院大学非常勤講師)
茨城県	茨城県教育庁 高校教育課高校教育改革推進室	横田能洋、神田あずさ (茨城NPOセンター・コモンズ)	奈良県	奈良県教育委員会事務局 学校教育課学事係	榎井久 (中国の学生と交流を深める会、外国ルーツの子ども支援ネットワーク権原)
栃木県	栃木県教育委員会事務局 学校教育課高等学校教育担当	若林秀樹 (宇都宮大学)	和歌山県	和歌山県教育庁 学校教育課県立学校教育課	
群馬県	群馬県教育委員会事務局 高校教育課教科指導係	本堂晴生 (NPO法人Gコミュニティ)	鳥取県	鳥取県教育委員会事務局 高等学校課指導担当	岩本由美子 (公益財団法人鳥取県国際交流財団)
埼玉県	埼玉県教育局 県立学校部高校教育指導課	小川満 (埼玉・多文化こども支援連絡会)	島根県	島根県教育庁 教育指導課	青戸俊恵 (益田市立益田小学校)
さいたま市	さいたま市教育委員会 学校教育課学校教育課		岡山県	岡山県教育庁 高校教育課	山根智恵 (山陽学園大学)
千葉県	千葉県教育庁 教育振興部指導課学力推進室	白谷秀一 (房総多文化ネットワーク)	岡山市	岡山市教育委員会 高校教育課	
東京都	東京都教育庁 都立学校教育部高等学校教育課入学選抜担当	小川郁子 (東京の日本語教育を考える会)	広島県	広島県教育委員会事務局 教育部高校教育指導課振興係	二口とみゑ (一般社団法人HOPEプロジェクト)
神奈川県	神奈川県教育委員会事務局 教育指導部高校教育企画課(入学者選抜・定員グループ)		広島市	広島市教育委員会 学校教育課指導第二課	
川崎市	川崎市教育委員会事務局 学校教育課指導課	高橋清樹 (NPO法人多文化共生教育かながわ)	山口県	山口県教育庁 高校教育課	永井涼子 (山口大学)
横浜市	横浜市教育委員会事務局 指導部高校教育課		徳島県	徳島県教育委員会 教育創生課	森井哲也 (JTMとくしま日本語ネットワーク)
新潟県	新潟県教育庁 高等学校教育課指導第1係	原瑞穂 (上越教育大学大学院)	香川県	香川県教育委員会事務局 高校教育課教育指導グループ	安藤州一 (香川まるがめ子どもにほんごひろば)
富山県	富山県教育委員会 県立学校課高校教育係	青木由香 (アレッセ高岡)	愛媛県	愛媛県教育委員会事務局 指導部高校教育課教育指導グループ	田中千代 (えひめJASL)
石川県	石川県教育委員会事務局 学校指導課	石津みなと (北陸大学)	高知県	高知県教育委員会事務局 高等学校課	大塚薫 (高知大学)
福井県	福井県教育庁 高校教育課	半原芳子 (福井大学教職大学院)	福岡県	福岡県教育庁 高校教育課学事企画係	吉谷武志 (NPO法人ともに生きる街ふくおかの会、東京学芸大学)
山梨県	山梨県教育庁 高校改革・特別支援教育課	今澤博 (甲府市立大田小学校)	福岡市	福岡市教育委員会 指導部学校教育企画担当	吉谷武志 (NPO法人ともに生きる街ふくおかの会、東京学芸大学)
長野県	長野県教育委員会事務局 学校教育課	服部珠予 (公益財団法人長野県国際化協会)	佐賀県	佐賀県教育庁 学校教育課	早瀬節子 (佐賀県日本語学習支援"カスタネット")
岐阜県	岐阜県教育委員会 学校支援課総合支援第二係	各務真弓 (NPO法人可児市国際交流協会)	長崎県	長崎県教育庁 高校教育課	岩谷美代子 (NPO法人外国から来た子ども支援ネットくまもと)
静岡県	静岡県教育委員会 高校教育課指導第1班	小林芽里 (NPO法人浜松NPOネットワークセンター)	熊本県	熊本県教育庁 高校教育課	
浜松市	浜松市教育委員会 学校教育課指導課		大分県	大分県教育庁 高校教育課	足立恵理 (大分人権教育ワークショップ研究会)
愛知県	愛知県教育委員会 高等学校教育課	伊東浄江 (NPO法人トルシーダ)	宮崎県	宮崎県教育庁 学校教育課高校教育・学力向上担当	
名古屋市	名古屋市教育委員会 学校教育課指導室 高校担当	松本一子 (愛知淑徳大学非常勤講師)	鹿児島県	鹿児島県教育庁 高校教育課	岩谷美代子 (NPO法人外国から来た子ども支援ネットくまもと)
			沖縄県	沖縄県教育庁 県立学校教育課	宮城皓子 (NPO法人アメラジアンスクール・イン・オキナワ)



1. 地域別の「措置」と「枠」の比較について

	全日制高校について(60 自治体)				定時制高校について(57 自治体)			
	外国人生徒		中国帰国生徒等		外国人生徒		中国帰国生徒等	
	措置	枠	措置	枠	措置	枠	措置	枠
○	30	17	29	16	30	7	28	8
△	12	9	13	11	13	7	14	6
×	18	34	18	33	14	43	15	43

2. 全日制高校・外国人生徒の「措置」について

措置のある 30 自治体について、その内容を比較しました。なお、比較するため共通した用語に一部変えて示しています。

その結果、「滞日年数制限」「措置の内容」が自治体によって大きく異なることがわかりました。

別表参照

3. 全日制高校・外国人生徒の「枠」について

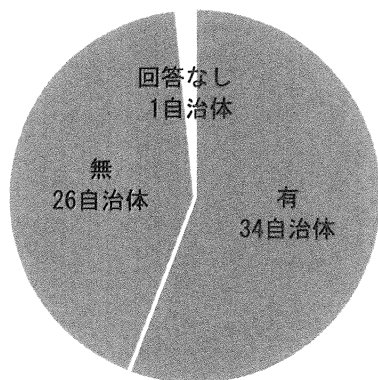
枠のある 17 自治体について、「滞日年数制限」「入学枠のある学校数(全学校数)」「定員」「試験内容」を比較しました。なお、比較するため共通した用語に一部変えて示しています。

その結果、自治体によって大きく異なること、そのことが 2018 年度入試の合格者数(受検者数)に現れていることがわかりました。

別表参照

1. 高校入学後の状況について

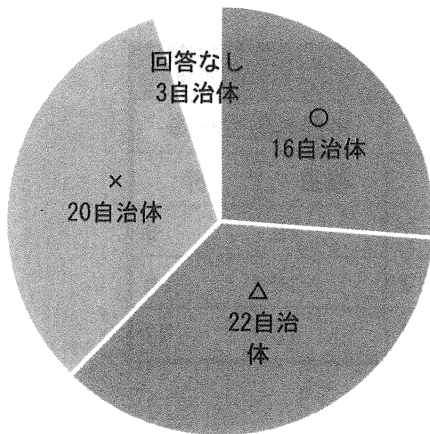
日本語指導が必要な生徒に対して、入学後の日本語や教科の支援(補習など)にかかわる施策の状況を把握しました。その結果、「有」が 34 自治体(55.7%)でした。



<有の34自治体>  
北海道、札幌市、宮城県、仙台市、群馬県、埼玉県、東京都、神奈川県、川崎市、横浜市、石川県、福井県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、名古屋市、三重県、滋賀県、京都府、京都市、大阪府、兵庫県、神戸市、奈良県、和歌山県、広島県、広島市、山口県、徳島県、香川県、鹿児島県、沖縄県

### 5. 各種学校の認可を得た外国人学校の中等部の者について

高校受験者資格を認めているか否かを把握しました。その結果、「○(認めている)」が16自治体(26.2%)でした。なお、「各種学校ではないが、本国政府の認可を得た外国人学校の中等部の卒業生について」と扱いが異なる自治体があることもわかりました。

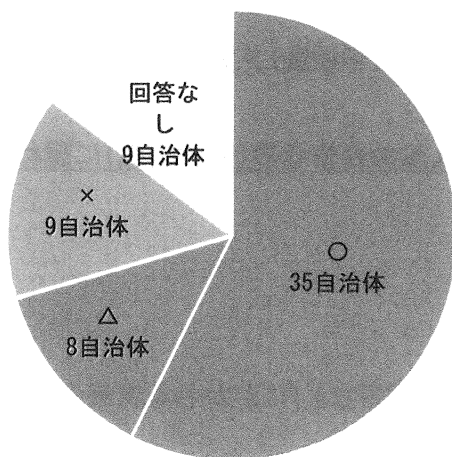


#### <16自治体>

埼玉県、さいたま市、東京都、神奈川県、川崎市、横浜市、福井県、滋賀県、兵庫県、鳥取県、広島県、広島市、徳島県、高知県、宮崎県、沖縄県

### 6. 特別措置と入学枠での滞日年数制限について

日本国内にある外国人学校の在籍期間を日本での在住期間に含むか否かを把握しました。その結果、「×(含めない)」が9自治体(14.5%)ありました。



#### <9自治体>

宮城県、栃木県、東京都、石川県、長野県、奈良県、香川県、福岡市、鹿児島県

1. 地域別の「措置」と「枠」の状況について

自治体名	総数	全日制高校について				定時制高校について			
		外国人生徒		中国帰国生徒等		外国人生徒		中国帰国生徒等	
		措置	枠	措置	枠	措置	枠	措置	枠
1位 愛知県	7,277	×	○	×	○	○	×	○	×
2位 神奈川県	3,947	○	○	○	○	○	○	○	○
3位 東京都	2,932	○	○	○	○	○	×	○	×
4位 静岡県	2,673	×	○	×	×	×	×	×	×
5位 大阪府	2,275	○	○	○	○	○	×	○	×
6位 三重県	2,058	△	△	△	△	△	△	△	△
7位 埼玉県	1,762	×	○	×	○	×	×	×	×
8位 千葉県	1,489	×	○	×	○	×	○	×	○
9位 岐阜県	1,300	×	○	×	○	×	×	×	×
10位 滋賀県	1,059	○	×	○	×	○	×	○	×
11位 群馬県	1,034	○	△	○	△	△	△	△	△
12位 兵庫県	967	○	○	○	×	○	×	○	×
13位 茨城県	924	○	○	○	○	○	○	○	○
14位 栃木県	666	○	×	×	×	○	×	×	×
15位 長野県	503	○	×	○	×	○	×	○	×
16位 広島県	437	×	×	×	△	×	×	×	×
17位 福岡県	312	○	△	○	△	○	△	○	△
18位 富山県	307	○	×	△	×	○	×	△	×
19位 京都府	264	○	×	○	○	○	×	○	○
20位 山梨県	257	○	○	○	○	○	○	○	○
21位 奈良県	215	×	○	×	○	×	×	×	×
22位 新潟県	129	△	△	△	△	△	△	△	△
2 北海道	125	△	×	△	×	△	×	△	×
24位 福井県	122	○	×	○	×	×	×	×	×
25位 香川県	121	△	×	△	×	△	×	△	×
26位 島根県	115	△	×	△	×	△	×	△	×
27位 宮城県	108	○	×	○	×	○	×	○	×
28位 石川県	106	×	×	×	×	×	×	×	×
29位 沖縄県	105	△	×	△	×	△	×	△	×
30位 岡山県	104	×	×	×	△	×	×	×	×
31位 熊本県	87	○	△	○	△	○	△	○	△
32位 山口県	70	×	×	○	×	×	×	○	×
33位 徳島県	63	○	×	○	×	○	×	○	×
34位 福島県	59	×	○	×	○	×	×	×	×
35位 山形県	45	△	×	△	×	△	×	△	×
36位 愛媛県	44	△	△	△	△	△	△	△	△
37位 鹿児島県	39	○	○	○	○	○	○	○	○
38位 大分県	32	○	×	○	×	○	×	○	×
39位 宮崎県	32	△	×	△	×	△	×	△	×
40位 青森県	30	△	×	△	×	△	×	△	×
41位 鳥取県	27	○	×	○	×	○	×	○	×
42位 長崎県	25	○	○	○	○	○	○	○	○
43位 佐賀県	24	○	×	○	×	○	×	○	×
44 秋田県	20	△	×	△	×	△	×	△	×
45位 和歌山県	20	○	×	○	×	○	△	○	×
46位 岩手県	13	△	×	△	×	△	×	△	×
47位 高知県	12	×	×	×	×	×	×	×	×
政令都市・中核都市	札幌市	×	×	×	×	×	○	×	○
	仙台市	○	×	○	×	○	×	○	×
	さいたま市	×	×	×	×	定時制なし			
	川崎市	○	×	○	×	○	×	○	×
	横浜市	○	○	○	○	○	×	○	×
	浜松市	×	△	×	×	定時制なし			
	名古屋市	×	×	×	×	○	×	○	×
	豊橋市	全日制なし				○	×	×	×
	京都市	○	×	○	×	○	×	○	×
	大阪市	○	△	○	△	○	×	○	×
	神戸市	○	×	○	×	○	×	○	×
	岡山市	×	△	×	△	定時制なし			
	広島市	×	×	×	△	×	×	×	×
福岡市	○	○	○	○	定時制なし				

2. 全日制高校・外国人生徒の措置について

自治体名	宮城県	仙台市	茨城県	栃木県	群馬県	東京都	神奈川県	川崎市	横浜市	富山県
滞日 年数 制限	なし	なし	3年	2年 (外国での在住年数 2年以上、在任期間 が長期者は個別)	3年	①外国籍者は3 年 ②国籍を問わ ず、入国後6年	6年	6年	6年	6年 (日本国籍者は入国 後3年)
措置の 内容	時間延長、科目 減など (ただし審査の上)	保護者等からの 申請による受験 上の配慮 (審議により配慮 内容を決定)	科目減 (国数英+面接)	・面接十(高校長 判断で学校独自 検査と作文) ・国・数・英の学 力検査+作文、 面接	後期選抜におけ る学力検査等に ついては、校長 が定める	第一次・分割前 期及び分割後 期・第二次での 共通問題に漢字 にルビ +①辞書持込み が一部可、検査時 間・検査会場で適 切な措置有 +②在京外国人 生徒対象の選抜 の検査問題でも本 措置申請可	時間延長(1.5倍 まで)、問題文の 漢字にルビ、面 接時にわかり易 い言葉でゆつくり 話す	時間延長(1.5倍 まで)、問題文の 漢字にルビ、面 接時にわかり易 い言葉でゆつくり 話す	時間延長(1.5倍 まで)、問題文の 漢字にルビ、面 接時にわかり易 い言葉でゆつくり 話す	漢字にルビ (日本国籍の場 合、海外帰国生 徒(帰国子女)に 対する特別措置 を適用し、面接を 実施。)
自治体名	福井県	山梨県	長野県	滋賀県	京都府	京都市	大阪府	大阪市	兵庫県	神戸市
滞日 年数 制限	2年 (外国での在住年数 2年以上)	7年	3年	6年	3年 (外国での在住期間 が継続して1年以 上)	3年 (外国での在住期間 が継続して1年以 上)	原則として小一 以上の学年に編 入学したもの	原則として小一 以上の学年に編 入学したもの	特になし	兵庫県の準ずる
措置の 内容	国・英・数の3教 科+面接	学力検査は5教 科の中から自己 選択した3教科 +面接	時間延長、漢字 にルビ、国・社を 作文・面接で代 替	漢字にルビ、時 間延長10分、辞 書持込み可 (ただし、英語辞 書は不可)	時間延長(上限 10分)、漢字にル ビ	時間延長、漢字 にルビ等	時間延長、辞書 持込み、漢字 にルビ、作文お よび小論文形式 のキーワード外 国語併記、小論 文における翻 訳、自己申告書 の代筆	時間延長、漢字 にルビ、問題用 紙拡大コピー、 別室受験など	兵庫県の準ずる	兵庫県の準ずる
自治体名	和歌山県	鳥取県	徳島県	福岡県	福岡市	佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	鹿児島県
滞日 年数 制限	特になし	3年 (個々の事情等によ り配慮)	なし	6年 (小四以上の学年に 編入学、年齢超過者 に対しては別条件 有)	6年 (小四以上の学年に 編入学、年齢超過者 に対しては別条件 有)	【条件A】6年 (小四以上の学年に 編入学、年齢超過者 に対しては別条件 有) 【条件B】2年 (海外に引き続き2年 6月以上在留者)	なし	なし	協議による	3年 (中学校又はこれに 準ずる学校に編入学 した者)
措置の 内容	漢字にルビ、時 間延長、辞書の 持込み等	個々の事情によ り配慮する (例:試験科目の限 定(5教科を国・数・ 英の3教科)、試験時 間の延長、ルビふ り、辞書の持ち込み 許可など)	時間延長、漢字 にルビ、辞書の 持込みなど具体的 な措置は受検者 の状況を聞き、 各校と教育委員 会が協議をして 決定	・時間延長(国25 分、他15分) ・学力検査問題 の一部について て、別に漢字振 り仮名表を用意	時間延長、漢字 にルビ、別会場	【特色選抜試験】 時間延長、漢字 にルビ、 【一般選抜試験】 3教科受験、時 間延長、漢字に ルビ ※審査の上で決定	漢字にルビ	時間延長など	協議による	時間延長、漢字 にルビ

3. 全日制高校・外国人生徒の「枠」について

自治体名	福島県	茨城県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	横浜市	山梨県
滞日 年数制限	3年	3年	3年	3年	3年	3年 (外国籍を有するか、 日本国籍取得後3年 以内の者を含む)	3年 (外国籍を有するか、 日本国籍取得後3年 以内の者を含む)	7年
入学枠のある 学校数 (全学校数)	7校 (全81校)	すべての 高校	10校 (全145校)	12校 (全130校・市立含 む)	7校 (全185校)	10校 (全137校)	2校 (全8校)	すべての 高校
定員	若干名 (転入学許可の特 別定員枠の扱い に準ずる)	一校につき全学 科を合わせて2人 以上 (上限は学校ごと に設定)	募集人員の10人 以内、後半の4校 については5人以 内	別に定める	合計155人 (4月と9月入学含む)	115人	10人	定員を超えて1学 年の学級数まで 可能
試験内容	英語(又は自国 語)又は日本語に よる作文と面接、 基礎学力検査 (英・国・数)(校長 判断)	国数英+面接	学力検査(数・英) 及び面接	面接及び作文(い ずれも英語又は 日本語 による)	作文及び面接。な お、言語について は、それぞれの検 査において、日本 語又は英語のど ちらかを選擇でき る。	検査内容 英、 国、数、面接	検査内容 英、 国、数、面接	学力検査は5教 科の中から自己 選択した3教科及 び面接とすること ができる
2018年度入試 の合格者数(受 検者数)	合格9人 (受検12人)	回答なし	合格17人 (受検27人)	合格26人 (受検51人)	合格116人 (受検243人)	合格111人* (受検122人)	合格10人* (受検15人)	回答なし

### 3. 全日制高校・外国人生徒の「枠」について

自治体名	岐阜県	静岡県	愛知県	大阪府	兵庫県	奈良県	福岡市	長崎県	鹿児島県
滞日 年数制限	3年	3年	6年 (小四以上の学年に編入学した者、又は三年以下の学年に編入学し、特別な事情があると認められる者)	6年 (小四以上の学年に編入学した者) ※大阪府では、外国人生徒・中国帰国生徒等の区別をせずに、各要件を満たせば、志願することができる	3年	6年 (小四以上の学年に編入学)	6年 (小四以上の学年に編入学、年齢超過者に対しては別条件有)	3年	3年 (外国における在住3年以上)
入学枠のある 学校数 (全学校数)	すべての 高校	9校 (全99校)	9校 (全146校1校舎)	7校 (全132校)	5校 (全147校)	2校 (全31校)	1校 (全4校)	すべての 高校	67校 (68校)
定員	入学定員とは別に、各校3人程度	それぞれ若干名	若干名	若干名	各校3人 計15人	若干名	募集人員は入学定員に含まれる	若干名	若干名
試験内容	面接、日本語基礎力検査(基礎的な学力を測る問題を含む)	面接、日本語基礎力検査(基礎的な学力を測る問題を含む)	国・数・外(英語)の基礎的な学力検査+個人面接。学力検査(3科目)の問題にはルビを振る。	数学、英語、作文	国・数・英の全教科ルビをふり、国語は「基本的な日本語能力」	数・英+作文、面接	国・数・英についての特別学力検査+作文及び面接	日本語又は外国語(英語又は中国語)による作文及び面接	面接と作文
2018年度入試 の合格者数(受 検者数)	合格10人* (受検12人)	合格21人* (受検23人)	合格26人* (志願46人)	合格85人 (志願113人)	合格9人 (出願18人)	合格3人 (受検3人)	合格2人* (受検2人)	公表していない	回答なし

\*外国人生徒と中国帰国生徒等を含めた数